

藻類絵はがきの会

Algal picture post card collection

藻類絵はがきの会という組織も場所も会則も持たない煙のような会があります。会長はもとより、誰が会員なのかそれもよく解りません。自分が会員だと自覚している人も居ないようです。それでも藻類絵はがきの会は、藻類の普及・啓蒙と学会誌充実のための資金援助という2つの目的を持って藻類の絵はがきを作ってきました。そして、最近では藻類学会以外の多分野のかたがた、さらには海外からも、絵はがきにみられる藻類の造形美と優れた撮影技術に関心が寄せられ高い評価を受けています。一体、藻類絵はがきの会とは何なのかということをお学会員の皆さんにお伝えしてご意見を伺う時期にきたように思います。

数年前に、誰からともなく藻類の絵はがきを作って、学会財政を助けるとともに、もっと世の中の人に藻類を知ってもらいたいという話題が出ました。その後、会員数人がそれぞれ写真を持ち寄ってその可能性を検討しました。しかしそれを引き受けてくれそうな出版社も博物館のような組織も見つかりませんでした。そのままその話は立消えたかのような観もありましたが、この度の学会誌改革による厳しい学会財政を少しでも援助したいという意図から、石川が発起人となって、出版社等に頼らない独自の絵はがきの製作に踏み切りました。賛否両論がありました。幸い第一回は8人の会員（川嶋、横浜、吉崎、新井、三浦、喜田、谷口、当真の諸氏）が無料でスライドを提供くださり、また20万円の資本金を出してくださった会員もあり大変助かりました。海藻シリーズとして20枚の絵はがきができました。昨年（1993）はタイミングよく国際植物学会が横浜で開かれましたので、その場で数十万円分を頒布することができました。そのほか、つくばフォーラム、秋期シンポジウム、珪藻学会、生物教育学会などで、その趣旨を明示して販売しました。

また、会員には郵便で呼びかけましたところ100名近くの方からご協力をいただきました。収益金は全額、学会誌の資金にあてるとともに、絵はがきの目的は藻類の啓蒙にあるのですから、個人の販売と間違われては困ります。そこで“藻類絵はがきの会”という名称が必要になりました。また、貴重な写真を無料で提供してくださった方々にも収益金の使途が明瞭であるように、世話役（石川）とは別に会計管理を片山氏にお願いしました。

海藻シリーズはカラー写真なので印刷経費が70万円ほどかかり、経費を差し引いて、学会誌充実のための資金は30万円余りに終わってしまいました。今年度（1994）は経費の少ない白黒写真を目指し、走査型電子顕微鏡写真に絞りました。高度な技術によって現わされたミクロの造形美は多くの人々を驚嘆させています。渦鞭毛藻（堀口）、円石藻（井上）、珪藻（南雲・出井・小林・真山・長田）の“生命の形”です。藻類がこのように美しいものであることは藻類の研究者でなければ表現することはできません。藻類の絵はがきから感じることは、藻類研究者は、世の中の人々がまだ全く見たことのない美しい世界を知っており、それは藻類学会の秘めた財産だということです。藻類をもっと力強く世の中にアピールすることは、文化における貢献であるとともに、藻類学会を実質ともにもっと豊かにするものであると思います。そのような観点から、絵はがきのみならずいろいろな面で、藻類学会の眠っている財産を、会員自身のために、また世の中のために、会員相互の協力によって呼び覚ましていきたいものだと思います。

この“藻類絵はがきの会”の今後を考えるためにご意見をお寄せ下さい。（東京学芸大学 石川依久子）

1994年度シリーズの頒布価格は微細藻類（A-H）・珪藻（I-P）各8枚組500円、一枚80円です。また、海藻シリーズ（カラー）（各5枚組300円）も残部がありますので、あわせてご協力いただけると幸いです。

頒布方法：1. 葉書か電話かFAXで下記に希望部数をお知らせください。

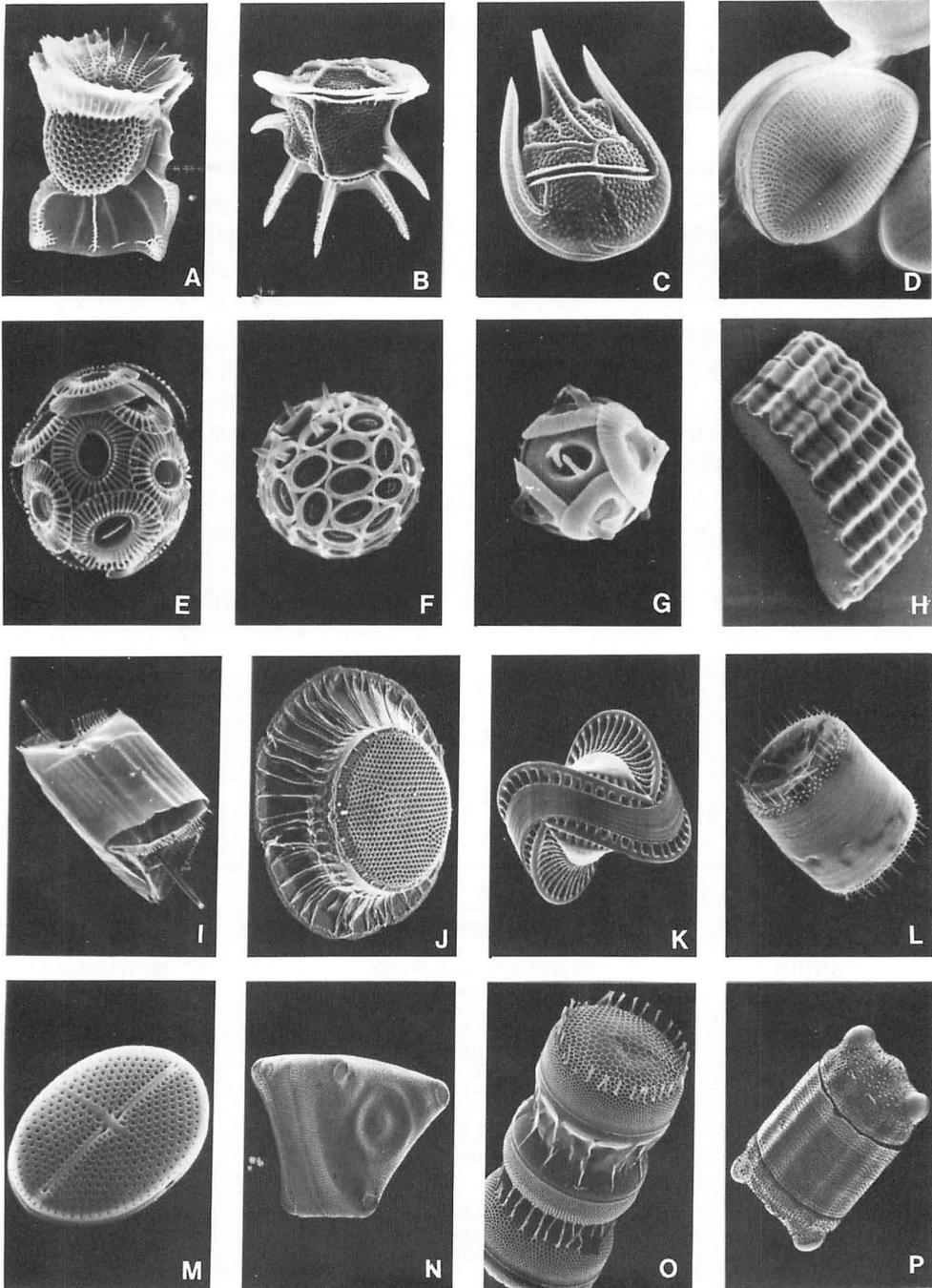
郵便振替用紙同封で絵はがきをお送りしますので後日送金してください。

2. 郵便振替で下記に送金し、振替用紙の裏に希望部数をお書きください。送料を後に請求させていただきますことでもあります。

〒184 小金井市貫井北町4-1 東京学芸大学生物学教室気付 藻類絵はがきの会

Tel. 0423-25-2111 内線 2665（石川）・2674（片山）FAX. 0423-24-9832

郵便振替口座番号 00140-1-569892 加入者名 藻類絵葉書の会



Algal picture post card collection 1994
Scanning electron micrographs of microalgae